

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		緑地管理事業	担当課	経済課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成21年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意の事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理	市民協働	
予算科目コード		01-060104-03 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 当該区域内の草刈りを業務委託により、適切な維持管理を行う。
利根川と鬼怒川に挟まれた自然豊かな風景が残存する魅力ある地域であり、酪農団地と河川堤防敷を一体とした総合的な公園として活用することを目的に平成19年度から事業を開始した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
当該区域を市民の憩いの場として提供する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
当初計画していた桜公園の整備計画を見直し、現状利用（草地）での市民の憩いの場としての活用方法を検討する。	市民の憩いの場としての活用方法の検討を行う。（H31年） 必要最小限の占有面積以外の不要部分について、国土交通省と協議を行う。（H31年1月）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
必要最小限の占有面積となるように国土交通省と再度、協議を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	緑地の維持・管理のための定期的な草刈を実施していくため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
平成30年度以降の桜の消毒業務を廃止する。対象地の活用方針等については引き続き検討が必要である。	国土交通省と現状の管理状況と占有範囲の縮減について協議を実施した。また、占有区域の維持管理（草刈）を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
草刈面積（ha）	2.60	1.95	1.95	1.95	1.95
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	管理のみを行う事業であるため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き、必要最小限の占有面積となるように検討していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	907	791	518	627	627
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	907	791	518	627	627
正職員人工数（時間数）		54.00	71.00	17.00	0.00	0.00
正職員人件費		221	291	71	0	0
トータルコスト		1,128	1,082	589	627	627

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園維持管理事業		担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	昭和57年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別	任意の事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-080402-05 単独	根拠法令・条例等	都市公園法，守谷市都市公園条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
宅地開発等により整備された公園内の施設や植栽等を適切に管理するため。	公園内の植栽の管理を委託し、維持・管理する。 公園内の施設を適切な状況で利用できるよう、修繕や清掃等を行い、維持・管理する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
緑豊かでレクリエーションやスポーツの場として親しまれている公園や運動施設を、市民の憩いの場として、いつでも安心して楽しく利用できるよう維持管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
年々維持管理費が増大しているため，経費を削減していく。	１．随時。長期契約業務の問題点の整理。 ２．随時。協働作業の実施（H30.12.8実施予定）。 広報誌等を活用した協働作業のPR。 ３．随時。他市の事例の調査及び情報収集を実施。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
１．長期契約による維持管理費の軽減。 ２．市民との協働作業の推進。 ３．他市の事例を調査し，効率的な委託を検討。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	せせらぎの小路の維持管理担当替え（H31～H33年度：守谷市担当）による増。 労務単価等の上昇と消費税率の見直し計画による増。 四季の里公園内池浚渫計画による増。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
事故件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
遊具修繕数（箇所）	34.00	45.00	24.00	43.00	43.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	公園管理工の費用が年々増加するなか、３ケ年契約により管理内容を維持しつつ、費用を縮小させ安心できる公園管理をした。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公園内清掃委託も３ケ年契約（平成30年度～平成32年度）を実施し、公園植栽管理業務と併せて継続的にかなりして、安心して利用できる公園にしていく。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	407,754	390,831	389,559	464,516	464,516
	国・県支出金	6,334	6,392	6,550	6,549	6,550
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,759	384,439	179,475	75,144	75,144
	一般財源	398,661	0	203,534	382,823	382,822
正職員人工数（時間数）		5,304.00	3,515.00	2,024.00	0.00	0.00
正職員人件費		21,746	14,412	8,450	0	0
トータルコスト		429,500	405,243	398,009	464,516	464,516

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園施設改修事業		担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成20年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別	任意的事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働	
予算科目コード		01-080402-06 補助	根拠法令・条例等	守谷市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が、安全・安心に公園施設を利用できるように、公園施設を対象に、平成24年度に守谷市公園施設長寿命化計画を作成している。	老朽化した松ヶ丘公園施設を効果的に修繕・更新を行う。 1 工事請負費 ・松ヶ丘公園改修工事 27,000千円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
平成25年度から老朽化した公園施設の改修を計画的に実施し、市民が安全で快適に利用できる公園にする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
公園施設を安全・快適に利用してもらうため，計画的な改修が必要である。そのため，長寿命化計画により計画的に改修を実施していく。	・松ヶ丘公園カラー舗装 12月25日完了予定 ・松ヶ丘公園照明改修 12月15日完了予定 平成31年度スケジュール ・けやき台公園カラー舗装（長寿命化計画より） ・けやき台公園，板戸井公園照明改修（長寿命化計画より）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
遊具点検等で施設の状態を的確に把握し，長寿命化計画を定期に見直しを行い施設の改修を実施していく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。	守谷市公園施設長寿命化計画により、松ヶ丘公園の園路と公園灯の改修工事を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
改修率＝改修施設数÷計画施設数（10施設）（％）	0.00	40.00	60.00	90.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	計画的な公園改修により、安全・安心に利用できる公園の維持・向上がされた。 今後も、守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を実施し、安全性の向上をしていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	公園施設の点検等を踏まえ、定期的に 守谷市公園施設長寿命化計画を見直し、公園改修等を計画的に行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	54,262	32,364	23,395	42,904	18,700
	国・県支出金	10,500	10,000	11,000	20,350	9,350
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	43,762	22,364	12,395	22,554	9,350
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		52.00	52.00	29.00	0.00	0.00
正職員人件費		213	213	121	0	0
トータルコスト		54,475	32,577	23,516	42,904	18,700

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公園まちづくり団体助成事業		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	緑を生かした景観の形成		種別
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働
予算科目コード		01-080402-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱 守谷市公園等里親事業実施要項

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 公園等維持管理団体助成事業は、公園等の維持管理を行う参加団体に助成し、年間を通し公園等を良好に管理してもらう。 参加団体数　：　17団体 公園等里親事業は、ボランティア団体が公園や道路の植栽樹等に、花苗植えや除草等を行い、市民による環境美化の推進を図る。 里親団体数　：　71団体
市と市民のパートナーシップにより、協働のまちづくりの推進を図るため、平成14年度に守谷市公園等里親事業実施要綱及び平成17年度に守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱を定めた。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民や団体等による年間を通じた公園等の管理及び緑化について協働のまちづくりを推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市の玄関口である守谷駅の植樹樹や開通した坂町清水線等を公園等里親において草花の植栽をしている。しかしながら、里親がいない植樹樹がまだあるので、里親の活動の拡充を図り、協働による魅力あるまちづくりを推進していく必要がある。 また次年度は国体があるので、より一層守谷市の玄関口である守谷駅を花いっぱいにするため、公園等里親団体の活動場所を広げていきたい。	里親団体 昨年11月 64団体 11月現在 70団体（昨年同時期から6団体増） 表彰・情報共有の場の提供（代表者会議） 団体への参加依頼（勧誘） 9月中旬～10月 実施済み 12月中旬 実施予定 2月 里親代表者会議 （団体間交流・情報提供等） 3月 広報掲載にて募集 次年度の取組み 4月下旬以降 参加団体勧誘 （国体に向けて重点路線の強化勧誘）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
駅前の企業や店舗等に、今後も公園等里親の活動の趣旨と内容を周知し、多くの団体の参加を得る。 一部の団体は種から育てているので、経費削減のためにも団体間で交流を持たせ、花苗のやりとりができるようにする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	公園等里親団体数の増加による。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
公園まちづくり団体助成事業と公園等里親事業の周知とPRをすることにより、団体数を増やし協働のまちづくりを拡充し、緑化推進を図っていく。	広報へ年2回の里親募集の掲載や、守谷駅周辺や坂町清水線の植樹樹前の企業や店舗などに、公園等里親事業の趣旨と内容を周知し、参加団体を増やした。また継続して活動を行ってくれるよう、団体と連絡を取り合った。2つの事業の統合をしたことで事務の効率化が図られた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
参加団体数（件）	15.00	17.00	17.00	18.00	20.00
里親団体数（件）	52.00	66.00	71.00	73.00	70.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	登録団体数も増えて活動範囲が広がり、公園等の管理及び緑化について、協働のまちづくりが推進された。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	公園まちづくり団体数と公園等里親ボランティア団体を増加させ、協働のまちづくりを拡大する。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	3,245	6,689	6,878	9,946	9,946
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	6,689	6,778	9,946	9,946
	一般財源	3,245	0	100	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	1,519.00	1,586.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	6,228	6,622	0	0
トータルコスト		3,245	12,917	13,500	9,946	9,946

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		常総地方広域市町村圏事務組合負担金（公園）		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	緑を生かした景観の形成		種別
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働
予算科目コード		01-080402-08 単独	根拠法令・条例等	常総地方広域市町村圏事務組合規約

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和47年3月に、常総市・取手市・守谷市・つくばみらい市の4市で常総地方広域市町村圏事務組合を設立。	常総地方広域市町村圏事務組合において運営されている体育館・温水プール・野球場・陸上競技場・自由広場・ゲートボール場・テニスコート等の維持管理負担金。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
常総総合運動公園を利用した、市民のスポーツ振興と健康な体力づくりを図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	56,439	63,268	61,969	68,114	68,114
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	56,439	63,268	61,969	68,114	68,114
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		56,439	63,268	61,969	68,114	68,114